

平成25年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 大村市役所水道局下水道課	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 水道局下水道課計画 G 笹島 博幸 Tel 0957-53-1682 Fax 0957-53-1699 E-Mail gesuido@city.omura.lg.jp
代表者氏名 大村市水道事業管理者 福田 和典	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】

部門名 行政広報 部門	事例名 下水道の広報を考える（汚水行く先シール）
----------------	-----------------------------

事例の概要（適宜、写真、図、記事の画像等を挿入して下さい）

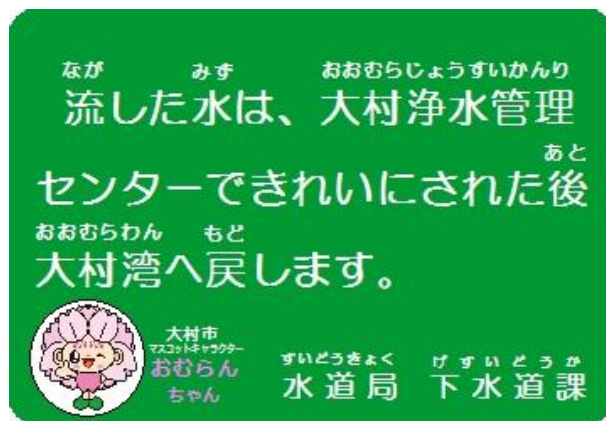
《大村市の概要》

大村市汚水処理人口普及状況 行政人口92,537人、汚水処理人口91,399人、普及率98.8%
 大村市公共下水道 下水道処理区域人口81,944人、普及率88.6%
 大村市農業集落排水事業（全7地区完了） 処理区域人口6,864人、普及率7.4%
 合併浄化槽 計画区域人口3,517人、処理区域人口2,591人、普及率2.8%

下水道課では、毎年10名程度の中学生を職場体験として受け入れている。下水道課に来た子供たちを最初にトイレに連れて行き、洗面所の蛇口を開き君たちが汚した水はどこへ行くのかと尋ねると、答えが返ってこない。

本市の汚水処理普及率 98.8%の中で、生まれ育った子供たちは、かつて汚水により汚れた海、川、溝等があったことを知る由もない。自分たちが、汚した水は目の前からただ消えてなくなるだけである。このため、下水道の広報を考えている中、雑誌「水の創造」の中で、NP021世紀水倶楽部理事 栗原 秀人氏が提案されていた「下水行く先シール」の記事を読み、職員でシールを作成し、小中学校、市役所、出張所のトイレ等に貼ってもらうよう依頼した。

貼付箇所 小学校 13校、中学校 6校、市役所、出張所 7箇所



エントリー事例の特徴（下水道インフラの価値を高める上で優れていると思われる点

- ① トイレ、洗面所等に貼ることにより毎日、目にすることになる。
- ② 低コスト： 耐水紙ラベル（8カット20枚入）購入費 1,359円×20冊＝27,180円